

2011.9.17(土)～10.2(日)

午前10時～午後8時(入場は午後7時30分まで) ※毎週水曜日休館

黒部市国際文化センター コラーレ(展示室)

前売り500円・当日700円(中学生以下は無料)

主催：財団法人黒部市国際文化センター

共催：北日本放送株式会社

後援：黒部市、黒部市教育委員会、財団法人NHKサービスセンター、株式会社JAF MATE社

協力：富弘美術館、グロリア・アーツ株式会社

※この展覧会は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。

富山・黒部



富弘美術館 花の詩画展

風は見えぬ  
だけど木に吹けば  
緑の風になり  
花に吹けば  
花の風になる  
今、私を  
過ぎていった  
風は  
どんな風に  
なったのだろう



# 星野富弘 in 富山・黒部 花の詩画展

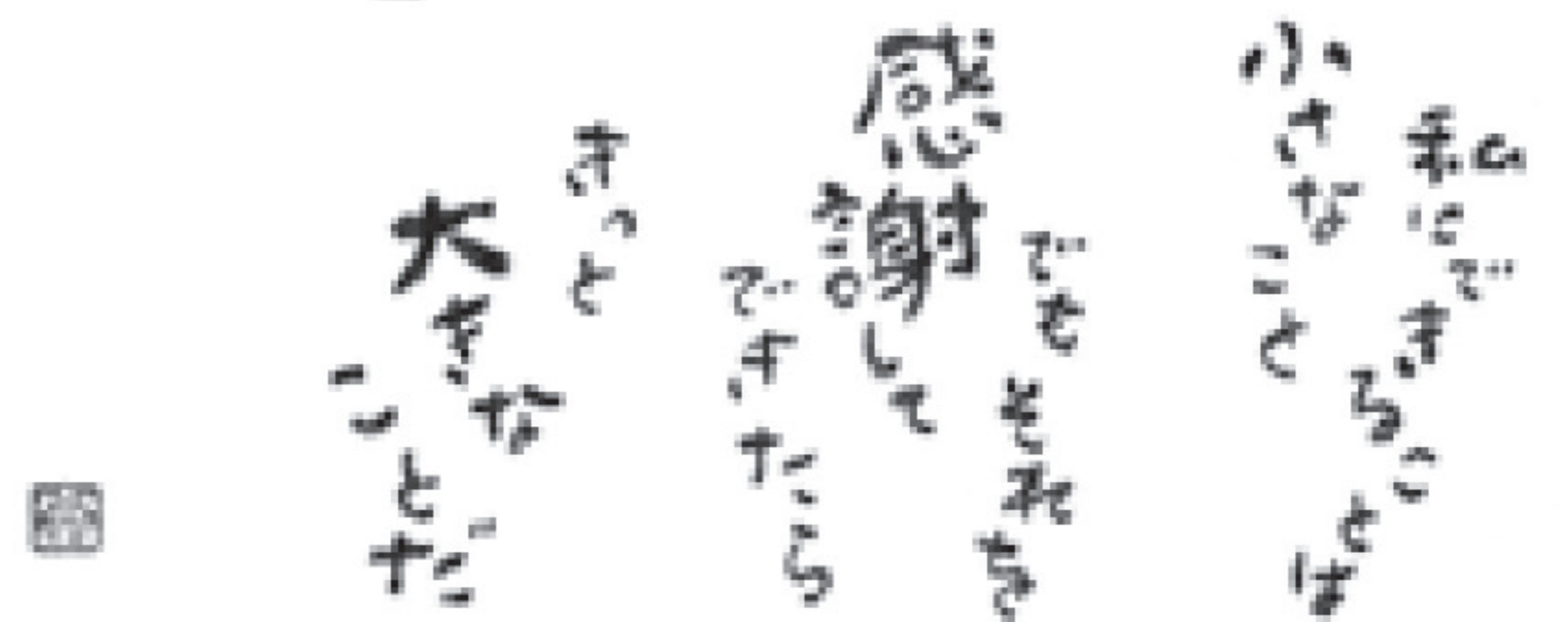
## 「星野富弘花の詩画展 in 富山・黒部」へのご案内

立山連峰と富山湾そして黒部川に囲まれた、自然豊かな黒部市で、星野富弘氏の詩画展を開催できることを心よりうれしく思っています。山を愛する星野富弘氏とこうしてご縁ができたのも、この雄大な山々が取り持ってくれたのかもしれません。

彼の作品は、学校の教科書にも掲載され、多くの方々にご存じのことと思います。花咲く前の小さなつぼみ、地面に落ちた葉っぱにも、星野富弘氏は暖かな眼差しを向けます。優しさに満ち、力強さと繊細さを秘めた彼の「詩」と「画」は私たちの心にそっと語りかけてきます。そして時にはユーモアで私たちをクスッと笑わせます。まさに、彼の作品は星野富弘氏そのものです。

星野富弘氏に会いにお越しください。そして、生かされている喜びにあふれる彼の言葉に耳を傾けてください。大切ななにかがきっと見つかるはずです。

財団法人黒部市国際文化センター 理事長 堀内康男



小さな実 © Tomihiro Hoshino



### 星野富弘プロフィール

- 1946年 群馬県に生まれる。
- 1970年 群馬大学卒業。中学校の教諭になるがクラブ活動の指導中頸髄を損傷、手足の自由を失う。
- 1972年 病院に入院中、口に筆をくわえて文字や絵を書き始める。
- 1979年 前橋で最初の作品展を開く。
- 1981年 雑誌や新聞に詩画作品や、エッセイを連載。
- 1982年 高崎で「花の詩画展」。以後、全国各地で開かれる「花の詩画展」は、大きな感動を呼び続けている。
- 1991年 群馬県勢多郡東村(現みどり市)に村立富弘美術館開館。
- 1992年～ ブラジルの各都市で花の詩画展。現在も続いている。
- 1994年 ニューヨークで「花の詩画展」。
- 2000年 ハワイで2度目の「花の詩画展」。

- 2001年 サンフランシスコ、ロサンゼルスで「花の詩画展」。
- 2003年 ワルシャワ国立博物館で「花の詩画展」。
- 2005年 (新)富弘美術館がオープン。
- 2006年 群馬県より名誉県民の称号を贈られる。
- 2010年 富弘美術館の入館者が600万人を超える。

現在も詩画やエッセイの創作活動を継続中。

著書に、新版「愛、深き淵より。」「風の旅」「かぎりなくやさしい花々」「鈴の鳴る道」「銀色のあしあと」「速さのちがう時計」「あなたの手のひら」「花よりも小さく」「星野富弘全詩集」「山の向こうの美術館」「たった一度の人生だから」「風の詩」「種まきもせず」等がある。

## オープニングイベント

### 講演会

## 「詩画を通して星野富弘さんを語る」

須藤 泚一郎 氏(富弘美術館館長)

9.17(土) 午前11時～12時

黒部市国際文化センター コラーレ(マルチホール)

入場無料 ぜひお気軽にご参加下さい

## 黒部市国際文化センター コラーレ



〒938-0031 富山県黒部市三日市20番地  
tel.0765-57-1201 <http://www.colare.jp>  
【開館時間】 9:00～22:30 (土曜～23:00)  
※詩画展会場への入場は10:00～19:30  
【休館日】 毎週水曜日(祝祭日の場合は開館)

